

株式会社エルコム (札幌市)

1991年の創業当時より、自社工場を持たない企業として地球環境や社会ニーズに添った、新たな製品の開発・提供を行っています。創業時は駐車場設備の設計開発を主たる事業としていたが、1999年より廃プラ活用(e-PEP)システムを手掛けてます。 URL : <http://www.elcom-jp.com>

ZERO CARBONの取組

○使用済み廃プラスチックリサイクルシステム(e-PEP)の導入
ユーザー側で発生した廃プラを、ペレット化しボイラー燃料にすることで、廃棄物の削減と化石燃料使用量の低減、CO2排出量削減を実現するシステムを開発し、提供しています。

【設備の例】

道内大手スーパーへのe-PEPシステム導入

スーパーで発生する廃プラや利用者から持ち込まれるプラゴミを収集、圧縮形成、燃料化し、同スーパーのリサイクルセンターの熱源として活用しております(以下は全て大手スーパーの設備です)。



収集したプラゴミ

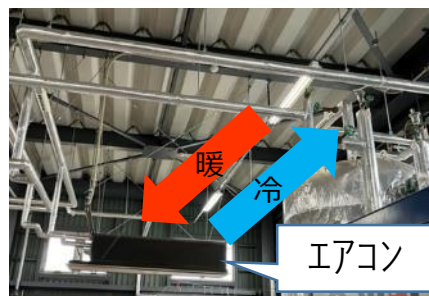


不純物を除去し、
ペレット化(圧縮形成)



①ペレットを専用
ボイラーで熱源に

②ボイラーから
の温水を貯留



エアコン

温水を暖房の熱源
として利用(水は再循環)

1システムあたり年間約100トンのプラごみの削減、重油換算で約9万%分(重油80円/ℓとして、720万円/年)の省エネ、さらに環境面においては290トンのCO2削減(LCA分析結果)。
※外部監査法人でのLCA分析結果 環境省のサプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース2021Ver使用(硬質、軟質、汚れたプラ、漂着ブイでのLCA分析を外部機関にて環境省の排出係数を基に行った結果の最大値を表記。なお、既存ボイラ燃料は都市ガス採用)。

特に力を入れていること 工夫している点

e-PEPシステムは海洋プラゴミも適用可能で、同社のクリーンオーシャンプロジェクト2050は**海洋プラゴミゼロ**を目指し、環境ソリューション事業とエネルギーシステム事業の両立を成す、製品の提供を行っています。



製品導入先は北海道内に留まらず、国内外へも展開しております。

このシステムが高く評価され、2020年度には道の省エネルギー・新エネルギー促進大賞を受賞。2021年度には、政府のSDGs推進本部より第5回SDGsアワードを受賞しました。



今後の目標・取組

引き続き、廃プラ排出先での循環利用を促進することで、プラゴミの海への流出を防ぎ、持続可能な循環社会の実現に向けて貢献する製品の製造業や流通業などへの普及・促進に努めていきます。